

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第434号 平成21年2月



『春の訪れ』 森本 晋

目 次

	頁		頁
1) 新年賀詞交歓会	総務部 … 2	6) 地区だより	
2) 感染症だより	西多摩保健所 … 3	青梅市医師会	鹿児島武志 … 13
3) 連載企画		7) 日医ニュースより	広報部 … 14
弥勒菩薩見学記	鹿児島武志 … 5	8) 理事会報告	広報部 … 14
4) 伝言板	広報部 … 7	9) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 16
5) 広報だより		10) お知らせ	事務局 … 17
なくそう「蓄膿症」! 正しく使おう「副鼻腔炎」!		11) あとがき	宮下吉弘 … 17
菊池 孝 … 10		12) 表紙のことば	森本 晋 … 18

平成21年 西多摩医師会新年賀詞交歓会

恒例の西多摩医師会新年賀詞交歓会が、平成21年1月17日(土)午後6時より青梅市福祉センターで開催されました。多くのご来賓(20名)、会員(37名)にご参加いただきました。

真鍋会長が開会の挨拶をされ、社会情勢は厳しい状況にあり、特定健診など多くの問題を抱えているが、地域連携を密にして、地域医療の崩壊を食い止めたいと述べられました。

続いて、都議会議員の野村有信議員がご挨拶をされ、日本に安心を与える政策が必要であり、東京都としては、中学3年までの子どもの医療費を無料化とする政策を平成23年度までに実施予定であると述べられました。

市町村長代表として竹内俊夫青梅市長が、健診や介護保険事業への協力について謝意と地域医療における医療連携の必要性を述べられました。

出席していただいたご来賓の方々の紹介が

行われ、永見宏行西多摩保健所長の音頭で乾杯を行い、歓談となりました。

ソプラノ歌手の田島玲子さんとピアノ・バイオリンの双子のユニット ピュアによるコンサートが開催され、その美しい歌声と演奏に、会場は魅了されたようでした。

その後、恒例の抽選会が行われました。

閉会の目前に、井上信治衆議院議員がかけつけ挨拶をされ、「来年の診療報酬の改定に向けて努力したい。今年の総選挙ではご支援賜りたい」と述べられました。

足立卓三先生に、中締めをしていただき、最後に横田副会長に、閉会の挨拶をしていただき、会はお開きとなりました。

写真の労をお引き受けくださった土田先生、司会・企画の段階で協力していただいた医師会事務局のスタッフに深謝いたします。

(文責：総務福祉担当 宮下 吉弘)

(写真：福祉委員 土田 大介)





感染症だより

<全数報告>第51週(12/15-21)から第3週(1/12-18)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症)結核4件(肺結核4件)

(四類感染症)つつが虫病1件

<管内の定点からの報告>

	51週	52週	1週	2週	3週
	12.15~21	12.22~28	12.29~1.4	1.5~11	1.12~18
RSウイルス感染症	0	1	0	0	0
インフルエンザ	20	44	13	166	227
咽頭結膜熱	4	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	5	1	10	5
感染性胃腸炎	49	32	11	43	23
水痘	14	12	5	12	8
手足口病	9	5	0	1	0
伝染性紅斑	1	1	0	0	0
突発性発しん	1	1	0	4	2
百日咳	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	0	0	0	2	0
不明発疹症	0	0	0	0	0
MCLS	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	2	0	3
合計	103	101	32	238	268

※基幹定点報告対象疾病〈細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く)〉 報告はありませんでした。

① インフルエンザの報告が増加しています。

インフルエンザの報告数は、第41週以降、全国的に増加傾向が続いており、都道府県別報告数では、北海道、兵庫県、福島県、沖縄県などの順となっています。第51週から第3週についてみると、都内では第51週に1,137例(4.00人/定点)だった報告数が、第3週には4,734

例 (16.67 人/定点) と 4 倍以上に増加しており、都は 1 月 15 日に流行注意報発令のプレス発表を行いました (下記参照)。管内でも第 51 週に 20 例 (2.22 人/定点) だった報告数が、第 3 週には 227 例 (25.22 人/定点) と 10 倍以上に増加し、瑞穂町で学級閉鎖が行われるなど、急激に増加しています。1 月 17 日には、都内の医療機関で、入院患者 75 名・職員 24 名の集団発生と入院患者 3 名の死亡が報告され、都は都内の各医療機関や高齢者施設などに対し、院内・施設内感染防止の徹底に取り組むよう、注意喚起を行いました。インフルエンザの流行は、例年 12 月下旬にはじまり、1 月下旬から 3 月にかけてピークを迎えます。今後も発生数の増加が予想されるため、さらなる注意が必要です。

② 感染性胃腸炎の報告は減少しています。

感染性胃腸炎の報告数は、全国的に、第 51 週をピークに減少傾向となっています。第 51 週から第 3 週についてみると、都内では第 51 週に 2,678 例 (18.09 人/定点) だった報告数が、第 2 週には 1,204 例 (8.19 人/定点)、3 週には 972 例 (6.66 人/定点) と減少しており、管内でも第 51 週に 49 例 (9.80 人/定点) だった報告数が、第 2 週には 43 例 (8.60 人/定点)、3 週には 23 例 (4.60 人/定点) と減少しています。

③ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告は減少しています。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、全国的に、第 51 週をピークに減少傾向となっており、第 51 週から第 3 週についてみると、都内では第 51 週に 457 例 (3.09 人/定点) だった報告数が、第 2 週には 253 例 (1.72 人/定点)、3 週には 242 例 (1.66 人/定点) と減少しており、管内でも毎週数例の報告となっています。

◎ 1 月 15 日、都内にインフルエンザの流行注意報発令

インフルエンザは、第 2 週に都内の患者報告数が流行注意報基準 (10 人/定点を超えた全ての保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の 30% を超える) に達し、東京都は 1 月 15 日にプレス発表を行いました。それによると、都内 31 保健所中 11 保健所 (管内人口の合計は東京都全体の 40.3%) で、保健所別患者報告数が 10 人/定点を超えました。第 2 週の患者報告数 10.02 人/定点は、過去 10 シーズンの同時期の中では最も多くなっており、今後も注意が必要です。感染予防には、外出後の手洗い・うがい、室内の加湿・換気、人込みへの外出を控える、インフルエンザワクチンの接種などが重要です。

◎ インフルエンザ検査情報

東京都健康安全センターによると、1 月 18 日までに定点医療機関から搬入された検体から、AH1 亜型が 53 件、AH3 亜型が 37 件、B 型が 7 件検出され、同 22 日までに搬入された集団発生 (学級閉鎖等) 27 事例の検体では、10 事例で AH1 亜型、3 事例で AH3 亜型、3 事例で B 型、1 事例で AH1 亜型と AH3 亜型が検出されるなど、AH1 亜型が多く検出されています。

連載企画



弥勒菩薩見学記

青梅市 かごしま眼科 鹿児島 武志

昨年の秋、奈良を訪れる機会があり以前から一目みたいと思っていた中宮寺の弥勒菩薩を見ることができました。大仏殿や法隆寺、春日大社も良いが、奈良に行ったら是非中宮寺へと思っていたので、寺の正確な場所も知らずに古都に向かいましたが、いつもの事ながら、新幹線車中でガイドブックに首っ引きでおおよその観光コースが決まりました。

「歩く奈良」と題したガイドブックは実によく出来ていてかゆいところに手が届かんばかりに読者を引きつけます。例えば堀辰雄氏が「東洋のミュージズ」と称した妓芸天菩薩が秋篠寺にあり必見かつ境内の苔の絨毯模様も絶景とか、あるいは普段は非公開の西大寺の愛染明王坐像が公開されている日程とか、まるで行かなくても見てきたような気分がさえなってきます。あとで分かったのですが、2005年に上野の国立博物館で中宮寺展が開催されており、その時は弥勒菩薩を全方向から観ることができたそうで残念でした。また郷土食の茶粥や柿の葉ずしなどの写真がさも美味しそうに所せましと誌面上に並べられています。ちなみに他社の観光案内と比べての違いは、この案内書は文字の並べ方とレイアウトの細かさ、色使いの艶やかさとコメントの豊かさが俄然他者よりも秀でていることに

気が付きます。西多摩会報誌もこれだけ写真を並べたら映えるだろうとは思いつつも年間予算があつという間に吹き飛んでしまうことにはたと気が付きます。

さて修学旅行生も知っているあの京都の広隆寺の有名な宝冠弥勒菩薩は国宝指定の第1号で56億7千万年後に3回の説教で192億人を救済すると言われていています。昨年のリーマンショック以来、やたら兆の単位の負債額が続々と登場してきて我々も56億にながし位では全く驚かされません。逆に万単位ですと機械の月額リース料などが頭に浮かび急に現実味を帯びてきますが、億単位の年数となると全く浮世離れしています。僧侶である友人は信者さんを前にこのような時空を超えたスケールの大きい話をしているのですが、さすがに話の大きさに二の句がでません。

ところで弥勒菩薩の半跏思惟とは右手を頬に当ててどうやって人々を救おうかと深く考えているポーズを指すのだそうで、あまり意味の違いはないと思いますが、中宮寺の菩薩像の右手のポーズは微妙に広隆寺と異なります。どちらも優雅さを絵に描いたような腕から手先に至るまでの思惟ぶりなポーズは見事な演出であると感じました。また中宮寺の弥勒の頭は髪をたばね纏めて2個のピンポン

中宮寺
弥勒菩薩 (正面)

(ななめ)



(手)

玉のようになっていて冠をかざした広隆寺とは全く異なります。中性的でもあるし女性かもしれない、一体どちらなのだからどうもはつきりした見解はないようですが、素人目には髭もないし、筋骨隆々でもない、男性には見えず、頼りない見方ですが、やはり2体とも聡明で慈愛に富む女性像のように、見受けられました。共通して見られるのは何と云ってもあの不可思議で柔和な笑顔と目元の表情でしょう。ただその美しさを文章でいくら書いても一葉の写真の雄弁さにはかないませんし、実物はもっと迫力に富んでいます。モナリザやスフィンクスと並ぶ世界の3大微笑といわれる所以もこのあたりにあるのかも知れません。ちなみにギリシャ彫刻に端を発する両口端をかすかに引き上げたアルカイクスマイルとは日常生活をする上での微笑とは違い感情の移入はないとされています。一方、飛鳥や白鳳時代の仏像彫刻にみられる微笑は中国の六朝時代あたりに源を発し、衆生に対する慈悲を表すという意味でギリシャ彫刻のスマイルとは直接には関係ないという説もあります。いずれにせよガイドブックにも紹介してあるカールヤスパースも絶賛したという弥勒菩薩の微笑みは見る者を魅了せずにはいられないし、以前、京都の学生が熱心さのあまり抱きついて薬指を折ってしまった不遜な事件があり結局起訴猶予処分になりましたが、気持ちも分からないではありません。

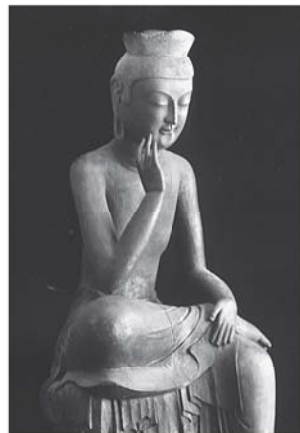
ところで私自身は仏像にはちょっとした縁があります。都内で毎年、矯正展が開催されており某刑務所から同じ作者による4体の一刀彫りの仏像が出品されていました。骨董趣味は以前からありましたが、何故か骨董でも

ない真新しい彫り物に惹かれ不動明王と毘沙門天を大枚をはたいて購入しましたが、再度会場に戻って、銀行から引き出した現金を係員に渡すときに隣にいた老人が「自分はトリ年なので守り神である不動明王をどうか譲ってくれ」といってなかなか立ち去ろうとしません。「ワシも先が短いから」と言われてとうとう根負けして相手に渡すと見返りにと云って観音菩薩を譲ってくれました。以来実家のタンスの上に鎮座するのが、桂の木目の色合いは今ではかなり変色して古色蒼然としていますが、毘沙門天と観音菩薩です。すでに30年も前の話で老人とはしばらくの間連絡していましたが20年前に亡くなりました。

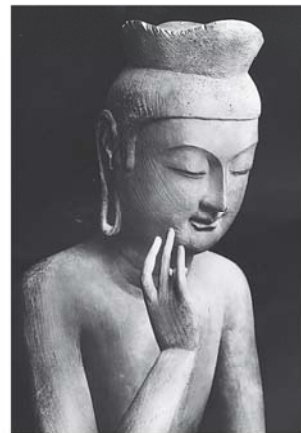
今回の奈良小旅行では時間も限られ、さわりだけを見るという結果になりましたが、圧倒的な優美さで有名な国宝阿修羅だけでなくドラゴンボールの主人公を思わせる躍動感あふれる姿恰好の新薬師寺の12神将なども初めて目にすることができ、如来、菩薩、明王、そして天とそれぞれ役目が異なる仏の世界のヒエラルキーのあり様も多少は理解する事ができたことは小欄を書くネタになったとはいえ素人にとっては大きな収穫でした。記憶が途切れぬうちにと云いたち、その後京都太秦の広隆寺にも行きましたが、3度目にみる弥勒菩薩、その他四天王、如来も手に携えている飾りや道具により（失礼ながら）何の目的で存在し、それぞれの役目は何かという事が本を片手におぼろげながら理解できました。（なお国宝阿修羅展が3月31日より6月7日まで東京上野の国立博物館で開かれます。後ろ姿も見ることができ一見の価値があると思います。）



広隆寺
弥勒菩薩（正面）



（ななめ）



（手）

伝言板

① 西多摩医師会 学術講演会

日 時：平成 21 年 2 月 13 日（金）7:30 PM ～
場 所：羽村市生涯教育センター「ゆとろぎ」2 階講座室
演 題：大規模臨床試験のエビデンスを日常臨床に生かす
～ RAS 抑制薬を中心に～
講 師：東京大学大学院医学系研究科 臨床疫学システム講座
教授 山 崎 力 先生

② 第 16 回 西多摩三師会 市民公開講座

ここまでわかる自分の健康－健康長寿の免疫学

日 時：平成 21 年 2 月 28 日（土）2:00 PM ～ 4:00 PM
場 所：羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」小ホール
講 師：新潟大学大学院医歯学総合研究科教授 {免疫学・医動物分野}
安 保 徹 先生
主 催：西多摩三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）
後 援：あきる野市・青梅市・羽村市・福生市・奥多摩町・日の出町・瑞穂町・檜原村

③ かかりつけ医うつ病対応力向上研修事業についてのお知らせ

日 時：平成 21 年 3 月 2 日（月）
場 所：青梅市立総合病院 南棟 3 階 講堂
演 題：うつ病について（仮題）
講 師：青梅市立総合病院 精神科 部長 塩江 邦彦 先生

*平成 20 年度内に西多摩医師会として講習会を行います。

④ 市民公開講座『みんなで防ごう脳卒中』

— 予防と再発防止 —

日 時：平成 21 年 3 月 4 日（水）6:00 PM 開演（5:30 PM 開場）
場 所：秋川キララホール 東京都あきる野市秋川 1-16-1（TEL 042-559-7500）

第 1 部 講 演

- ① 脳卒中の病態（20 分）…… 公立福生病院脳神経外科部長
小山 英樹 先生
- ② 脳卒中の治療（20 分）…… 公立阿伎留医療センター脳神経外科科長
伊藤 宣行 先生
- ③ 脳卒中の予防（20 分）…… 青梅市立総合病院神経内科部長
高橋 真冬 先生

第 2 部 夫婦でトークショー（70 分）

『ありのまま、そのまま生きる』 真屋 順子・高津 住男 氏

申し込み：西多摩医師会まで（FAX 0428-24-1615、TEL 0428-23-2171）
E-mail info@nishitama-med.or.jp

後 援：西多摩保健所・青梅市・福生市・羽村市・あきる野市・瑞穂町・
日の出町・奥多摩町・檜原村

⑤ 第 7 回西多摩医師会臨床報告会のご案内 及び演題募集について

第 7 回西多摩医師会臨床報告会を下記の要領で開催致します。つきましては、日常の診療でお忙しいとは思いますが、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

日 時：平成 21 年 3 月 11 日（水）午後 7 時 30 分から
開催場所：青梅市立総合病院 3 階講堂

演 題 募 集

西多摩医師会会員の皆様の臨床での貴重な経験を発表してください。

演題名および抄録を西多摩医師会へ FAX してください。

発 表 者：西多摩医師会会員に限ります。

コメディカルのご発表は会員との共同発表になります。

発表希望者が多数の場合、次回発表とさせていただくことがあります。

発表内容：症例報告、臨床研究、医院の運営方法、その他会員が聞いてためになることなら何でも構いません。

発表時間：1演題10分でご発表いただき討論を含めて15分の予定です。

応募要領：発表内容を400字程度にまとめてFAXしてください。

発表者の抄録は、医師会会報に記載します。

尚、スライド・パワーポイント等使用を明記して下さい。

募集期間：平成20年12月22日（月）～平成21年2月28日（土）

（西多摩医師会 FAX 0428-24-1615・0428-23-2160）

⑥ パネルディスカッションについてのお知らせ

日 時：平成21年3月16日（月）7:30 PM～

場 所：青梅市立総合病院 南棟3階 講堂

演 題：実践 高血圧診療（仮題）

講 師：未定

追 記：あらかじめ4例の高血圧患者を作成し、事前に会員に提示してアンケート（どのような降圧薬を選択するか etc.）調査を実施。発表。1月14日FAXで配信済み。

当日、数名の循環器内科医に同じ症例を割り当て、降圧薬選択時の考え方について講義していただく。高血圧専門医を1人招聘し、特別講師をしていただく予定です。

⑦ 第5回地域連携がん診療セミナーのご案内

～肝胆膵疾患の超音波スクリーニングから精査まで～

日 時：平成21年3月19日（木）19時～20時30分

場 所：青梅市立総合病院 南棟3階講堂

プログラム：

「肝胆膵疾患の超音波スクリーニングから精査まで」

講師 横浜市立大学附属市民総合医療センター

消化器病センター部長 沼田 和司 先生

申し込み：申し込みは不要です

問い合わせ：青梅市立総合病院 経営企画課

TEL 0428-22-3191



なくそう「蓄膿症」！正しく使おう「副鼻腔炎」！

青梅市 きくち耳鼻咽喉科クリニック 菊池 孝

1. はじめに

「蓄膿（ちくのう）症」と一般に呼ばれる耳鼻科の代表的な鼻疾患があります。かつては国民病とさえいわれました。近年は栄養状態の向上、治療の進歩により激減しましたが、「蓄膿症」という言葉だけが一人歩きしている印象があります。

「蓄膿症」とはあくまでも俗称で正確な病名ではありません。耳鼻科の教科書を見ても「蓄膿症」という項目はありません。「蓄膿症」という俗称に対する医学用語は「慢性副鼻腔炎」のことです。書店で一般に販売されているいわゆる家庭の医学をみても、

慢性副鼻腔炎（蓄膿症）

と書かれています。

ところが、未だにこの関連を誤解されることが多く、患者さんが他院で「蓄膿症」といわれたと耳鼻科を来院されても実際には「蓄膿症」ではない場合があります。「蓄膿症」という言葉を私自身は基本的に使いません。必ず「慢性副鼻腔炎」と説明します。この「蓄膿症」という俗称によって生じている問題点をこの機会に説明したいと思います。

できれば、この機会に他科の先生方も「蓄膿症」という表現は止めて頂いて、病歴に応じて、「急性副鼻腔炎」とか「慢性副鼻腔炎」とか説明するようにして頂ければありがたいと考えます。

2. 「蓄膿」、「蓄膿症」とは？

そもそも、「蓄膿」とは、鼻の病気を示す言葉ではありません。既存の体腔に膿が貯留

している状態を「蓄膿」といいます。ちなみに、新たに形成された空洞に膿が貯留する状態は「膿瘍」です。

手元に、「大辞林」（第三版）がありますが、その「蓄膿症」の項目には、

化膿性炎症によって生じた膿汁がたまった状態。普通、副鼻腔に膿のたまるものをさす。胆嚢、子宮、虫垂、肋膜腔、関節腔、脳室などに膿のたまるものもいう。という説明がなされています。

つまり、「蓄膿症」といっただけでは本当は鼻の病気を説明しているとはならないのです。できれば鼻の病気としてこの言葉を使用しないのが望ましいと考えます。

（ペットで犬を飼っている人は、「子宮蓄膿症」で検索して下さい。ペット犬ではよくある「蓄膿症」です。）

「蓄膿症」が鼻の病気として定着したのは、他の部位で生じる「蓄膿症」より発生頻度が圧倒的に多かったからです。戦前、戦後によくいた青洩を垂らしていたいわゆる「洩垂れ小僧」は基本的に副鼻腔炎の状態、それが長引いて一般に蓄膿症といわれていました。

3. 副鼻腔炎とは？

「蓄膿症」という俗称を理解するには、本来の病名であるところの「慢性副鼻腔炎」を理解する必要があります。

副鼻腔炎に対しては、日本鼻科学会が2007年に「副鼻腔炎 診療の手引き」（金原出版）というガイドラインを出版しました。この中で、副鼻腔炎の定義を

副鼻腔炎とは、副鼻腔の炎症により、鼻閉、鼻漏、後鼻漏、咳嗽といった呼吸器症状を呈する疾患で、頭痛、頬部痛や嗅覚障害などを伴う疾患である。

鼻内所見では、膿性、粘膿性または粘性の鼻汁や鼻粘膜腫脹、または鼻茸を認める例も多い。画像検査により副鼻腔に異常陰影を認める。鼻腔のアレルギー性炎症に伴う副鼻腔炎も存在する。

としています。

副鼻腔炎は罹患期間によって「急性」と「慢性」を区別します。ガイドラインでは、

発症後1ヶ月以内に症状が消失するものを急性副鼻腔炎とし、感染が主因と考えられ、鼻汁は膿性であることが多く、頬部痛や発熱といった急性炎症症状を伴うものを急性副鼻腔炎とする。

3ヶ月以上鼻閉、鼻漏、後鼻漏、咳嗽といった呼吸器症状が持続するものを慢性副鼻腔炎とする。慢性副鼻腔炎では、副鼻腔粘膜および中鼻道自然ルートに、治癒し難い形態的機能的な障害を生じていることが多い。鼻茸を認める例も多い。

ときに再感染により、急性増悪を起こす。罹病期間が1～3か月の症例は、急性炎症症状やその反復回数、および鼻内所見によって、急性あるいは慢性に分類される。

と定義しています。

4. 「蓄膿症」に対する問題点(「定義」の問題)

上記のガイドラインをよく読んで頂くと分かるのですが、「慢性副鼻腔炎」になるのは副鼻腔炎の症状が3ヶ月以上続いた場合です。

慢性副鼻腔炎に至るまでをチャートにすると、

1) ウイルス性急性鼻炎 (いわゆる「はなかぜ」)

(この段階では鼻汁は水様性透明鼻汁)

↓

2) 急性鼻炎の途中で細菌感染を生じる (いわゆる「かぜをこじらせた」状態)

(鼻汁は細菌感染すると粘性、黄色)

↓

3) 急性副鼻腔炎 (副鼻腔に細菌感染)

(膿性鼻汁が継続、顔面の疼痛、発熱など)

↓

4) 副鼻腔炎の症状が3か月以上継続

(頭重感、鼻閉、後鼻漏継続)

↓

5) 「慢性副鼻腔炎」(いわゆる「蓄膿症」)

戦前、戦後と日本は栄養状態が悪く、感染症が多かった国です。かぜから副鼻腔炎になっても体力的に回復が悪く、また戦前は抗生剤がなく、戦後は抗生剤が手に入りにくく、副鼻腔炎は慢性化する疾患でした。国民病と言われるくらい多い疾患でした。

本来「蓄膿症」という言葉は慢性化した副鼻腔炎に対して用いた俗称でした。近年は栄養状態の向上、治療の進歩により激減しています。

耳鼻科専門医として気になる言葉の問題は、本来は **慢性副鼻腔炎＝蓄膿症** と説明すべきところを、**副鼻腔炎＝蓄膿症** と説明されることがあることです。

「副鼻腔炎によって副鼻腔に膿が貯留した状態」＝「蓄膿」ですので、広い意味では、「副鼻腔炎」＝「蓄膿症」として使われる場合もありますが、一般には長引く副鼻腔炎を「蓄膿症」としていたのです。

先生によっては「急性の蓄膿症」、「慢性の蓄膿症」と使われている方もいらっしゃいますが、耳鼻科専門医としては慢性副鼻腔炎の

(12)

ことをいわゆる「蓄膿症」とする考えがありますから、「急性の蓄膿症」という表現には違和感を覚えます。

従って、できるだけ「蓄膿症」という言葉を使わず、「副鼻腔炎」と説明する方が疾患がはっきりします。

5. 「蓄膿症」に対する問題点(「治療」の問題)

「蓄膿症」といわれている患者さんに対し、問題になるのはその治療方針です。

本来の「蓄膿症」は「慢性副鼻腔炎」ことです。「慢性副鼻腔炎」は病気の程度や鼻茸の有無によって治療方針が異なります。

鼻茸がない場合：基本的に保存的治療
(マクロライドの少量
長期投与)を数ヶ月継続
します。

鼻茸がある場合：特に鼻閉が高度な例では手術加療(内視鏡手術)を検討します。

つまり、「慢性副鼻腔炎」の場合は、病気の程度によっては手術加療を必要とする疾患です。

一方、「急性副鼻腔炎」はほとんどが細菌性の急性炎症ですので、抗生剤投与による保存的治療になります。抗生剤を症状が改善するまで投与します。急性疾患なので、1ヶ月以内に治癒すべきです。

「急性副鼻腔炎」をきちんと完治するまで治療しなかったり、患者さんが放置しておくと、治らないまま症状が継続し、3ヶ月継続すると「慢性副鼻腔炎」となるわけです。

現在では、抗生物質の使用によって「急性副鼻腔炎」の段階で治癒する例が多く、以前のような細菌性による慢性副鼻腔炎は減少しています。長引く場合には、アレルギー性鼻炎の合併や鼻腔形態異常などの要因があります。

6. まとめ

「蓄膿症」の問題点は、説明される先生の中で、

①「蓄膿症」＝「副鼻腔炎」

②「蓄膿症」＝「慢性副鼻腔炎」

と2つの「蓄膿症」が存在することです。

実際には「急性副鼻腔炎」または「慢性副鼻腔炎」と説明すべき疾患がひとまとめにされて、患者さんからすると良く分からない病気になっている点です。

そのため、患者さんからすると治りやすい病気なのか、長引く病気なのかと不安になります。一般に「蓄膿症」と説明されると、患者さんは治りにくい病気という印象を持ってしまうのです。

最近では知識をもった患者さんも増えてきており、病気の名称に「俗称」を使用して説明すると、かえって誤解を招くこともあります。例えば夏に多い感染症で、「プール熱」と呼ばれる疾患があります。感染した人がプールに入ると流行が拡大することからこの名前がつけました。実際にはプールだけで感染するわけではありません。他のウイルス感染症と同様に、いろいろな場所で感染します。近年は「プール熱」と言うより「アデノウイルス感染症」と説明した方が、説明が簡単になってきたと感じます。ウイルス感染症としてこの疾患を説明しないと、抗生剤を処方する、しないの説明が難しくなるわけです。

個人的には「蓄膿症」という俗称は死語にすべき言葉と考えています。今後は「副鼻腔炎」の患者を診察する場合、「蓄膿症」ではなく、病歴によって、「急性副鼻腔炎ですので抗生剤で治療しましょう。」とか「長引いてきているので慢性副鼻腔炎になっていると考えます。耳鼻科に紹介しましょう。」というようにぜひ「副鼻腔炎」を正しく用いて下さるようお願い致します。

地区だより

青梅地区

青梅市医師会新年会開催さる

小雨の降りしきる1月9日(金)青梅市の三河屋で恒例の青梅市医師会新年会が催されました。いつからか青梅医師会では忘年会の代わりに新年会を開くようになりました。当夜の寒気団による気温低下の中、もしかすると土壇場のキャンセルもありかと気をもむ幹事の心配は7時半の開始時刻のころにはすっかりなくなり予定の35名の先生方の参加があり広い会場にもようやく熱気が出て中野会長の挨拶に続き足立先生の乾杯で新年会は始まりました。途中より竹内市長が参加され本年の健診のあらましを述べました。健康第一

がモットーの市長の今年の青梅マラソンへの出場については聞き洩らしましたが健診がスタートして間もない時期ですので皆さんの関心が高かったようです。後半から参加された井上議員は、多忙を極める国会で精力的に活動されている旨を話され、引き続いて医師会所属の野村都議が往年のバイタリティー溢れる挨拶をされ喝采を浴びました。2時間半に及ぶ宴会の締めは総合病院院長の原先生が病院の現状に触れた後に恒例の青梅3本締めで無事終了しました。

(文責；鹿児島 武志)



日医ニュース (No.1136号) 要約

毎月2号発行の日医ニュースの紹介です。今回は昨年12月3日と12日に行われた社会保障審議会介護給付費分科会で審議された介護報酬改定審議報告案について要旨をまとめました。詳細は原文をご覧ください。

広報部

第61回社会保障審議会介護給付費分科会でこれまで審議されてきた内容を踏まえて21年度報酬改定について報告の取りまとめが行われた。

介護従事者の離職率が高く人材確保が困難である状況から利用者への質の高いサービスの提供を主旨に以下の点について改定の基本的考えが記されている。

1. 介護従事者の処遇改善として「負担の大きな業務への評価」「専門性への評価・介護従事者の定着促進」「人件費の地域差への対応」
2. 医療との連携や認知症ケアの充実として「医療と介護の機能分化・連携の推進」「認知症高齢者の増加などをふまえた認知症ケアの推進」
3. 効率的なサービスの提供や新たなサービスの検証として「サービスの質を確保した上での効率的かつ適正なサービスの提供」「平成17年度に新たに導入されたサービスの検証および評価の見直し」

また各サービスはそれぞれのサービス状態

に合わせた評価方法が示されており、今回の介護報酬改定により介護従事者の処遇、介護サービスの質の評価指標などの検証が求められるとしている。

しかし日医では現時点での介護報酬改定率の突然の表示には遺憾に意を表明し、介護サービス情報の公表に対する調査費用の負担についての分科会での議論のあり方には疑問がありと述べた。さらに勤続年数に対する評価、夜間対応型訪問介護事務所オペレーターの資格要件、介護老人保健施設での基準を上回る加配の評価についても日医の意見を述べた。

また今回の審議報告に加えられた「事業者が行う介護従事者の処遇などに関する情報の公表」の件については個人情報とプライバシーの観点から事業者の公表の手引きの策定を国が推進することについて疑問を呈した。こうした議論をふまえて文言が訂正され審議報告案は基本合意に達した。年内には介護報酬の諮問・答申が行われる予定である。

(文責；鹿児島 武志)

理事会報告

★ Information

12月移動理事会

平成20年12月26日(金)

福生 サクラ

[出席者：真鍋・横田・中野・鹿児島・川間・鈴木・田坂・蓼沼・野本・松山・宮下・松原・永井事務長]

【1】報告事項

1. 都医地区医師会長連絡協議会報告 (中野副会長)

2. 各部報告

総務部：総務会 12/26 開催

クリスマス会 収支報告 12/15 (野本理事)

東京都医師国保協力員連絡会報告 12/17

学術部：(野本理事)

- 平成 19 年度日本医師会生涯教育制度申告の結果報告
- 「かかりつけ医うつ病対応力向上研修会」の実施について
(青梅市立総合病院南棟 3F 講堂) 21 年 3 月 2 日 (月)
講師 塩江邦彦先生
- 脳卒中医療連携検討会 1/27 及 3/4 の秋川キララホール「市民公開講座」の内容報告
- 学術講演会 1/26 「外傷患者を診る際に」(医療センター)
1/30 「高血圧について」(羽村市ゆとろぎ)

3. 地区会よりの報告(各地区理事)

- 青 梅：1/9 新年会 特定健診について
- 福 生：特になし
- 羽 村：12/16 忘年会
- あきる野：特になし
- 瑞 穂：12/18 例会
- 日の出：12/22 役場と医師会との懇談会(医療費の件で)

4. その他

【2】報告承認事項

1. 入会会員について 今回はなしです。

【3】協議事項

1. 日の出町高齢者医療費無料化について(継続)(会長) —— 承認 ——
2. 創立 100 周年記念誌編集委員について —— 承認 ——
3. 次年度の特定健康審査委託契約に関して(継続)(横田副会長) —— 承認 ——
4. 平成 21 年度学校医等各種報酬及予防接種委託料について(継続)(川間理事) —— 承認 ——
単価交渉について

5. その他

- 第 4 回西多摩緩和ケア研究会の共催について(継続)(野本理事) —— 承認 ——
1/24 (土)(青梅市立総合病院 講堂)
演題「自己決定ができない患者を支えるには」
日の出ヶ丘病院ホスピス科 沖 陽輔 先生
講演「これからの在宅ホスピス」
(医社)パリアン 理事長 川越 厚 先生
- 1/29 生保立会指導(西多摩病院)
- 2/4 医事紛争担当理事連絡会(都医 4F)
- 多摩ブロック医師会長連絡会
 - 1) 2/18 新型インフルエンザ対策説明会(立川グラウンド) 19:30 ~
 - 2) 2/20 新公益法人について(ヒルトン東京) 19:30 ~

会 員 通 知

- 会報
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 学術講演会（1/26・1/30）
- 「診療報酬請求書等の記載要領等について」の一部改正について
- 学術講演会（1/26・1/30）
- “3/16 パネルディスカッション”アンケート
- 第4回西多摩緩和ケア研究会（1/24）
- 訃報（丸野世志子先生ご母堂様）
- 市民公開講座「みんなて防ごう脳卒中」
一予防と再発予防一（3/4）
- 第16回西多摩三師会市民公開講座「ここまでわかる自分の健康」（2/28）
- 第24回西多摩学校保健連絡協議会の開催について（1/30）
- 第21回東糖協多摩ブロック糖尿病教室「糖尿病患者さんの心配にお答えします」（2/7）
- 臨床現場の医師のため「性感染症最新講座」（3/12）
- セキがある人のエチケット!!（ポスター）
- 産業医研修会（3/14・15 日本大学）
- “ ” （3/1 東京大学医師会）
- “ ” （2/14 新宿・中野・杉並区医師会）
- “ ” （2/28・3/1 東京都医師会）
- “ ” （3/1日 日本橋医師会）
- 平成20年度主治医研修会（2/28）
- 青梅市立総合病院より「地域医療連携室からのお知らせとお願いーFAX紹介枠拡大とFAX紹介ご利用のお願いー」

医 師 会 の 動 き

医療機関数	214	病院	29	30日	学術講演会
		医院・診療所	185		演題：非専門医のための心不全治療
会 員 数	510	A会員	205		講師：JR東京総合病院循環器内科部長 高橋 利之 先生
		B会員	305		

会議

- 1月5日 西多摩医師会医道審議会
- 6日 特定健診担当理事連絡会
- 9日 在宅難病調整委員会
- 16日 法律相談
- 23日 会報編集委員会
- 27日 西多摩地域脳卒中医療連携検討会
- 27日 定例理事会

講演会・その他

- 1月8日 保険指導整備委員会
- 17日 西多摩医師会新年賀詞交歓会
- 26日 学術講演会
演題：外傷患者を診る際に
講師：日本大学医学部
救急医学教室
教授 丹正 勝久 先生

役員出張

- 1月9日 東京都医師会医道審議会
- 10日 西多摩歯科医師会新年会
- 10日 西多摩接骨師会新年会
- 16日 新年東京都医師会地区医師会長連絡協議会
- 16日 青梅労働基準協会新年賀詞交歓会
- 22日 東京都医師会学校保健担当理事連絡会
- 23日 脳卒中連携事業連絡会議
- 28日 多摩ブロック代議員連絡会
- 28日 平成21年産業保健センター説明会
- 29日 生保指定医療機関立会
- 29日 東京都医師会地域医療連携担当理事連絡会

お知らせ

事務局より お知らせ

平成 21 年 3 月 (2 月診療分) の

保険請求書類提出**3 月 9 日 (月)**

— 正午迄です —

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第 2 水曜日午後 2 時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談ください。

- ◎相談日 2 月は 12 日 (木)
3 月は 11 日 (水) の予定です。
- ◎場 所 西多摩医師会館和室
- ◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料 (但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

あ と が き

今回の年末年始は、12 月 28 日と 1 月 4 日が日曜日であり、1 週間以上の休みをとり、旅行などでゆっくりされた方が、多かったのではないのでしょうか。自分は年始は、腹痛と下痢に悩まされ、何とも悲惨なものでした。

12 月 30 日に、東青梅休日診療所の当番を終え、1 月 1 日には、日帰り、都内の実家に帰省。1 月 2 日 昼頃より、関節痛、悪心、上腹部痛が出現。その後、激しい水様性下痢が、1 時間毎にあり。激しい腹鳴、下腹部痛も加わり、ウイルス性腸炎に罹ったなと思った。夜中にも頻回の水様性下痢があり、1 月 3 日 朝、目覚めるとおしりのあたりに不気味な湿り気を感じた。障害を受けた腸管粘膜からの多量の分泌液

が、肛門括約筋のバリアーをこじ開けて出てきてしまったなと判断。汚してしまった下着と寝間着を次亜塩素酸ナトリウム入りのキッチンハイターを薄めた水につけ、その後、洗濯をした。寝てしまったら再度、寝間着やシーツを汚してしまう心配があり、緊急回避として、愛犬のトイレとして使用しているペットシートを拝借し、パンツと寝間着の間に挟み込み、さらに、シーツの腰のまわりにも、もう 1 枚敷き、厳重な予防体制を取った。徐々に下痢の間隔も長くなり、病状は回復に向かったが、貴重な正月休みを、ほとんどトイレと布団の往復で過ごしてしまった。今冬は、インフルエンザも流行しており、皆さんも健康管理に気をつけてお過ごしください。

宮下 吉弘

表紙のこぼ



『春の訪れ』

毎年春になると、庭の片隅で咲いてくれる福寿草です。この写真は昨年のもものなのですが、なかなか良い写真がとれません。地面に這いつくばって撮っているときに、春の訪れを感じます。

森本 晋

訃報

波根 春代 様 (享年84歳)

瑞穂町長岡1-14-9

丸野医院

丸野世志子先生(ご母堂様)

去る1月20日ご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

社団法人 西多摩医師会

平成21年2月1日発行

会長 真鍋 勉 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 鹿兒島武志

宮下吉弘 近藤之暢 江本 浩 鈴木寿和 馬場眞澄
菊池 孝 桑子行正 會沢義之 土田大介 田村啓彦

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

レセコンから今、多機能電子カルテ時代へ。



「Medical Station」は診療・検査から会計まで、医療現場をまるごとサポート。医療スタッフの煩雑な作業を軽減するだけでなく、インフォームドコンセントや待ち時間の短縮など質の高いサービスを実現。

検査結果は暗号化したインターネット・メールで、依頼日の翌朝にはシステムに自動的に取り込まれます。検査センターならではの充実した検査機能のほかに、レセコン機能による診療費計算の自動化、さらには経営分析にも手軽に活用でき、医療の現場をトータルにサポートします。



画期的な新技術により「非改ざん証明」を初めて実現しました

(株)NTTデータとの提携により、厚生省の医療情報電子化3基準のうち最も実現が難しかった「真正性の確保」を日本で初めて技術的に可能にしました。過去のカルテ情報に不正な改変のないことをNTTデータのSecureSeal™センタ(電子文書証明センタ)が厳密に第三者的に証明します。

ハイパフォーマンス電子カルテシステム

Medical Station

お問い合わせ・資料請求先
株式会社ビー・エム・エル
医療情報システム部
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
TEL: 03-3350-0392
e-mail: mss-sales@bml.co.jp
http://www.bml.co.jp/

開発元
株式会社メリッツ
戦略システム開発部
〒350-1101 川越市市場1361-1
TEL: 049-233-7074